

緩やかな持ち直しの動きがみられる

(前回:横ばい傾向)

生産は持ち直しの動きがみられる。輸出は3か月ぶりの増加。
個人消費は足踏み。雇用は全体として持ち直している。

■ 7月生産:持ち直しの動きがみられる

(6月:足踏みをしている)

- 鉱工業生産指数 112.8
前月比 +3.9% (2か月連続)
前年同月比 +8.2% (2か月連続)
- 全13業種中、上昇は8業種
電子部品・デバイス工業、鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業 等
- 低下は5業種
輸送機械工業、電気・情報通信機械工業、プラスチック製品工業 等

(出所:九州経済産業局)

■ 7月輸出:増加(3か月ぶり)

(6月:減少)

- 輸出額 8,632億円
前年同月比 +1.0% (3か月ぶり)
- 主要品目
自動車 2,198億円 +8.5% (4か月ぶり)
電子部品 1,729億円 +13.7% (3か月ぶり)
鉄鋼のフラットロール製品 575億円 ▲2.8% (5か月連続)
- 国別
中国 1,664億円 ▲10.4% (3か月連続)
米国 989億円 +2.5% (3か月ぶり)
韓国 969億円 ▲20.2% (3か月連続)

(出所:財務省)

■ 7月個人消費:足踏み

(6月:一部に弱い動きがみられるものの回復傾向にある)

- 百貨店(全店) 416億円 ▲8.1% (6か月連続)
- スーパー(全店) 1,141億円 +2.5% (15か月連続)
- コンビニ 1,154億円 +1.9% (5か月連続)
- 家電大型専門店 305億円 ▲10.6%(3か月ぶり)
- ドラッグストア 762億円 +5.2% (38か月連続)
- ホームセンター 296億円 ▲1.7% (2か月ぶり)
- 新車登録台数 34,872台 ▲2.8% (7か月ぶり)

(出所:九州経済産業局ほか)

■ 7月雇用:全体として持ち直している

(6月:全体として持ち直している)

- 有効求人倍率 1.17倍
前月比 0.00ポイント(横ばい)
- 新規求人倍率 2.00倍
前月比 +0.02ポイント(3か月ぶり)
- 新規求人数
医療・福祉、卸売業・小売業、建設業、製造業、宿泊業・飲食サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

■ 業況:改善

- 6月の業況DI (%ポイント)
全産業 +21 変化幅+1
製造業 +11 変化幅+1
非製造業 +26 変化幅0
- 先行き(9月)
全産業 +18 変化幅▲3
製造業 +9 変化幅▲2
非製造業 +24 変化幅▲2

(出所:日本銀行福岡支店 短観6月)

■ 設備投資:減少

- 24年度
全産業 ▲9.6%
製造業 ▲12.5%
非製造業 ▲4.1%
- 25年度(計画)
全産業 +13.0%
製造業 +24.6%
非製造業 ▲7.0%

(出所:日本銀行福岡支店 短観6月)

■ 7月住宅建設:減少(4か月連続)

- 新設着工戸数 6,283戸
前年同月比 ▲4.1% (4か月連続)
- 持家 1,882戸
▲6.0% (4か月連続)
- 貸家 2,950戸
▲11.5% (4か月連続)
- 分譲 1,422戸
+25.1% (4か月ぶり)

(出所:国土交通省)

■ 7月公共投資:増加(3か月連続)

- 工事請負金額 1,948億円
前年同月比 +13.6% (3か月連続)
- 発注者別前年同月比
国 +67.7%
独立行政法人等 ▲43.7%
県 +11.8%
市町村 +1.9%

(出所:西日本建設業保証㈱)

■ 7月倒産:増加(4か月ぶり)

- 倒産件数 94件
前年同月比 +8.0%
- 負債総額 138.5億円
+50.1% (3か月ぶり)
- 業種別件数(前年同月比)
製造業 6件 (+20.0%)
卸・小売業 24件 (+14.3%)
建設業 20件 (+33.3%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。